

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和3年度 第1回定期総会議事録

開催日時：R3年6月19日（土）午後5時00分～午後6時00分

開催場所：Ps SQUARE 会議室（浦添市西原2-4-1）

正会員数：854名、総会構成会員数（出席20名、委任状参加502名）

令和3年6月19日午後5時00分からPs SQUARE 会議室（浦添市西原2-4-1）において定期総会を開催した。

司 会： 牧志 輝 理事（沖縄県立北部病院）

司会により議長団を募ったが希望者がおらず、下記の理事会案が提示されその承認を求めたところ満場意義なくこれを承認し総会を開始した。

議 長 団： 比嘉 盛治 理事（中頭病院）

山野 健太郎 氏（浦添総合病院）

資格審査委員： 斎藤 辰好 理事（ハートライフ病院）

議事運営委員： 伊波 敬 理事（中部徳洲会病院）

書 記： 上江田 ゆかり 理事（大浜第一病院）

喜舎場 良香 理事（浦添総合病院）

資格審査委員報告：令和3年6月19日の現在の会員数は854名、総会構成会員数20名、議決権行使502名。

合計で総会構成会員数522名により過半数に達したので、本会が成立宣言。

議事運営委員報告：議事時間配分 第1号議案を審議・質疑応答含め10分

第2号議案を審議・質疑応答含め10分

第3号議案を審議・質疑応答含め15分

総会議案

- (1) 第1号議案 令和2年度事業報告
- (2) 第2号議案 令和2年度収支会計報告及び監査報告
- (3) 第3号議案 令和3年度事業計画及び予算案
- (4) その他

開会の挨拶；安里光宏副会長

皆さん、お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。本日は宜しく願い致します。

会長挨拶；手登根稔会長

皆さん、お疲れ様です。理事の皆さんがこうしてお集まり頂くのも久々です。ZOOM等での会議が多く、発言がし難い中、本日こうしてお顔を合わせながらざっくばらんにお話しできたらと思います。

先程の責任者会議でもお話ししたように、今年10月1日にはタスクシフトの法改正が施行され変革の年になります。これに向け、従来は厚労省から日臨技、日臨技から各支部（九州）に投げかけられていたものが今回は各県単位で講習会を開催することになっており、秋以降の開催に向けて皆さんの多大なご協力を頂かなければならないと考えております。もう一つは九州学会が予定されております。ハイブリット形式の開催が決定しましたので、これに向けても一致協力して有意義な会になるように準備して参りたいと思います。

また、もう一つは臨地実習指導者の件に関しても、皆さんのご協力のもと進めて行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

第1号議案 令和2年度事業報告

議長 比嘉盛治氏の求めにより執行部（手登根稔会長、瀬戸司副会長、山城篤副会長、安里光宏副会長）が令和2年度事業報告、総務関連、渉外関連、学術関連の報告を行った。

総括：手登根稔会長

昨年はコロナ禍にあり多くの研修会、会議等が行われない中、理事会や一部の分野（一般・生化・微生物）の研修会に関して、オンライン開催が行われております。唯一、研修会としてはAVSSでの新型コロナウイルス遺伝子（PCR）検査講習会（計3回、研修終了32名）を行い、これにより少しずつ臨床検査技師で担っている検査である事をアピールしています。研修終了者の一部はAVSSへの人的応援に行っており、また自施設でのPCR検査普及に役立てて頂いております。基地従業員、松山地区商店街・住民のPCR検査に医師会の要請を受け協力もして参りました。学会に関しては、現地開催が行えず一般演題は誌上発表のみ、企業セミナーや特別公演はオンライン（オンデマンド配信視聴可）で開催しました。制度管理報告会についても2月に開催したものの、実務委員のみ会場参加し、これを収録し今後オンデマンド配信予定としています。

各章受賞祝賀会や新年会なども昨年度に続き中止となっております。その中、今年の叙勲受賞者3名（安富祖さん・根路銘さん・松川元会長）ありますが、書面でのお祝いと致します。昨年度の一年間、予定の事業を殆ど行えておりませんが、唯一オンラインでの研修会に関してはメリットが多いと思っておりますので、今後とも継続して行きたいと考えております。

総務関連：瀬戸司副会長

資料の5-6ページを参照ください。

定例理事会はZOOM開催となっており、これが例年と異なるところです。責任者会議、祝賀会の中止、関連団体の新年会中止と中止が相つぎました。また、例年と異なる項目としては新型コロナウイルス感染対策関連として、計7回のPCR検査体制支援検討会議を行いこれがPCR検査講習会へと繋がりました。

那覇空港における水際対策の強化についての会議にも一度参加させて頂きました。連盟に関しては九州支部のみのWeb会議を1回行っています。あとはご覧の通りです。

渉外関連；安里光宏副会長

資料の7-8ページを参照ください。

昨年度は九州支部学会（宮崎担当）への啓蒙活動が学会中止とともに行われませんでした。新人宿泊研修会、なごみ会の県民健康フェア、検査と健康展、ピンクリボン運動全てが中止となりました。他団体との連携活動もコロナの影響で全て中止。その中でも、PCR検体採取には手登根会長、瀬戸副会長中心の尽力により、金武から中部、松山地区と多くの理事・会員の皆さんの協力を頂き、ありがとうございました。

学術関連；山城篤副会長

資料の9-10ページを参照ください。

第56回沖縄県医学検査学会が開催され、Web開催にもかかわらず、338名の参加を頂きました。

第36回沖縄県医師会臨床検査技師制度管理調査結果報告会については、総括で手登根会長からもありましたが現地及びWeb開催を行いました。

学術活動に関しては、コロナ禍の影響により19回の研修開催となった。その中でも沖縄県から委託のPCR検

査における実地研修会を3回行いました。学術会議においては、通常2ヶ月毎・年間6回の開催予定が4回の開催のみとなっています。

第2号議案 令和2年度収支会計報告及び監査報告

議長 山野健太郎氏の求めにより執行部（田盛仁理事）が令和2年度収支会計及び監査結果について報告を行った。

会計報告；田盛仁理事

資料の12ページを参照ください。

経常収益；予算額10,400,000に対し決算額9,271,886、経常費用；予算額10,400,000に対し決算額7,963,115
当期増減額；1,308,771の黒字となっています。令和2年度の期首残高と合わせ、令和3年度期首残高は5,029,115となります。経常収益それぞれの内訳は資料の通りですが、コロナ禍にあり事業収入、補助金収入の大幅減少がありました。受託収入においては増額となりましたが、計7回行ったPCR講習会を行った事によるものであります。

経常費用それぞれの内訳は資料の通りです。事業費；印刷製本費について事業費及び管理費での内訳違いがあり予算額、決算額との解離が生じております。賃借料に関しても決算額が大幅に減少していますが、新年祝賀会等のキャンセルによるものとなっています。管理費；予算額に対しほぼ同額の決算費となっています。

追加；瀬戸司副会長より令和2年度損益、賃借対照、財産目録、公益目的支出計画実施報告書についての説明があった。

資料13-15ページ参照 資産合計14,022,500

資料16ページ参照 一般社団法人時の資産に関し、公益事業で全て返却するようルールあり。

公益目的財産残額が計画上の残額より多いため、計画を遂行していく必要あり。

資料17-18ページ参照 監査報告書。沖臨技会計、公益目的支出会計について監査承認を得ています。

第3号議案 令和3年度事業計画 予算案

議長 山野健太郎氏の求めにより執行部（手登根稔会長、瀬戸司副会長、山城篤副会長、安里光宏副会長）が令和3年度事業計画及び予算案について報告を行った。

事業計画；手登根稔会長

① タスクシフティングに関する厚労省指定の講習会開催

年度内に1回の開催を行うべく、大腸・肛門研究会から志垣先生（大浜第一病院）を中心に医師、看護教会に看護師の派遣を依頼予定と講師の選定中です。

② 九州学会

③ 臨地実習指導者研修会

① のタスクシフティングと並行し講習会開催を予定しているものの、現時点での詳細は不明。WGからの情報収集を行い展開していく予定です。

総務関連；瀬戸司副会長

資料の 21 ページ参照ください。

例年通りの計画となっているものの、組織運営の強化としてコロナ禍における感染対策を考慮した活動や会議への取り組み、その他としてコロナウイルス感染症対策における行政、関係団体との共同活動への参画が例年と異なるところとなっています。

渉外関連；安里光宏副会長

資料の 22 ページ参照ください。

日臨技九州支部医学検査学会の啓蒙活動が一番大きなところではあるが、新人宿泊研修会に向けた啓蒙活動については、コロナ禍にあって Web での開催も考慮するが現時点では不明。公共事業の継続に関しては、日臨技公益委託事業としての「検査と健康展」について企画書・予算書ともに提出しているが、最終的な運用については 8 月に決定予定となっています。

その他、例年通りとなっています。

学術関連；山城篤副会長

資料 23-24 ページ参照ください。

修正があります。2021 年度日臨技九州支部医学検査学会について会期・開催形式 Web 開催に関しては令和 3 年 11 月 7 日（日）～ 12 月 5 日（日）となります。

精度管理調査委員会の実行委員長の満期に伴い、実行委員長；宮里泰山氏（中部病院）、副実行委員長；山野健太郎氏（浦添総合病院）へ変更となります。

各種研修会に関して、各研究班ともに助成金精度（1 研修会につき 5 万円）を最大限に活用して ZOOM 等を利用した開催を検討ください。

予算関連；瀬戸司副会長

資料 25-26 ページ参照ください。

例年予算として、10,000,000 を見込みますが、コロナ禍の影響を想定した中で 8,400,000 としており、支出に関してもゼロ予算として同額の費用として組んでいます。

書面決議

議長 山野健太郎氏の求めにより資格審査委員（斎藤辰好理事）が議決権行使書の集計結果について発表し出席者においてこれを確認した。

承認 518 票 否認 1 票 無効 3 票（記入モレ）

議決権行使書の集計結果、これを承認可決した。

その他

手登根稔会長より、喫緊に開催予定の第 55 回日臨技九州支部医学検査学会についてハイブリッド開催（決定）に向け、各部長会議を仕切り直しで行っていく事となるとの情報提供があった。

一般演題は全てオンデマンド配信、日臨技・部門企画、式典、懇親会について行う事とする。

また、山城大会長より一般演題募集に対して協力依頼（県内演題 60 題）と、実行委員部長会議の開催する事の情報提供があった。

九州学会会計担当、瀬戸司副会長より学会開催の収入源は参加費や展示料、ランチョンセミナー料などとなるため、コロナ感染症の状況によって臨機応変に対応した参加形式（Web または現地）で資金確保協力についての情報提供があった。

議長は以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、総会役員は解任となった。

司会の進行により副会長 山城篤氏の閉会が宣言され、総会は午後 6 時 00 分に滞りなく終了した。

文責：喜舎場良香